









【北広島町版 認知症ケアパス】

「認知症ケアパス」とは、認知症の状態にあわせて、ご本人や介護者がいつ・どこで・どのようなサービスが受けられるのかを示したものです。

認知症の症状の変化	物忘れはあるが生活は自立	そろそろ見守りが必要	手助けが必要	常に手助けが必要	介助なしでの生活が困難
本人の様子 <small>(見られる症状や行動の例)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 物忘れが多くなる 会話の中に「あれ」「それ」など代名詞がよく出てくる 片付けが苦手になる 物が無くなる 	<ul style="list-style-type: none"> 同じことを繰り返し聞く 金銭管理が難しくなる 探し物をする時間が増える 必要なものを必要なだけ買うことができない 火の消し忘れ 	<ul style="list-style-type: none"> 薬を間違えて飲む たびたび道に迷う 季節にあった服が選べない 家電の操作が難しくなる 生活リズムが乱れる 	<ul style="list-style-type: none"> トイレの場所がわからない 道に迷って帰って来られない 日時や季節感がわからなくなる 洋服の着方がわからない 食べ物でないものを口に入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で食事ができなくなる 会話でのコミュニケーションが難しい 表情が乏しくなる 歩行が困難 起き上がるのに介助が必要
家族の心構え対応	<ul style="list-style-type: none"> 本人が「何かおかしい」と自覚されているかもしれません。話しやすいように声をかけてみましょう。 家族の「気づき」も大事です。いつもと違う、何かおかしい、と思ったら早めにかかりつけ医や相談窓口(裏面参考)へ相談しましょう。 本人が地域行事や地域のサロンなどに参加できるよう働きかける。 ご本人が元気なうちに本人の意向を確認し、家族間でも話し合っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 接し方の基本やコツなどを理解しましょう。 今後の介護について、家族間で話し合っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護の負担が増えるため、介護サービスを上手に利用しましょう。 介護者自身がリラックスできる時間を持ち、自分自身も大事にしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で出来なくなること(食事、排泄等)が増え、合併症を起こしやすくなることを理解する。 	
利用できるサービスや支援	相談	かかりつけ医、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ、認知症の家族会(たんぽぽの会) など			
	予防仲間づくり	介護予防・日常生活支援総合事業			
	見守り・安否確認	あんしん電話		見守り配食サービス	
	介護保険	介護保険申請の相談	介護保険サービスの利用		
	生活支援		配食サービス	シルバー人材センター	
	医療		かかりつけ医	認知症疾患医療センター	訪問診療
	家族支援		地域包括支援センター	認知症地域支援推進員	認知症の家族会(たんぽぽの会)
	住まい	サービス付高齢者向け住宅 ケアハウス など	自宅		老健施設 特養 など
	金銭管理	各金融機関へ相談		日常生活自立支援事業(かけはし)	成年後見制度

感情は最後まで残ります



認知症の相談・支援

編集・発行
認知症地域支援推進員
令和6(2024)年 3月発行

相談支援

啓発活動

連携支援

北広島町認知症地域支援推進員

☎ 0826-72-6515

認知症の人ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるように、地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業者や地域の支援機関をつなぐ連携支援や、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行います。

ぞめ活



ちゅピCOMで放映中

「ちゅピcom」の「きたおび」で、毎月第3水曜日に認知症に関する番組「ぞめ活」を放送しています。症状や関わり方、予防法などの情報をお届け!!
ぜひ、ご覧ください。



認知症サポーター養成講座

認知症の方やご家族を地域で温かく見守る認知症サポーターを養成しています。
子どもから大人まで幅広い世代の方に受講してもらっています。



サロン等での出前講座

サロンや老人クラブで認知症に関する話や認知症予防の体操を行っています。
どこでもお伺いしますので、ぜひ声をかけてください。



認知症にやさしい図書館

毎年9月から北広島町図書館本館・分館を巡回しながら認知症に関する書籍の展示や情報発信を行っております。

個別訪問

相談支援

北広島町認知症初期集中支援チーム「ひとひら」

☎ 0826-72-6515

下記のような困りごと等をお持ちのご高齢の方に対して、必要な医療・介護サポート等につなぐために、集中的（概ね6ヶ月を目安）な支援を行います。ご本人・ご家族の気持ちに寄り添ってサポートを行います。

例えば…

● 受診してもらいたいけど…

最近、父が何度も同じ話をしたり、物をよくなくして心配です。
受診してほしいけど、誘うとひどく怒って困っています…。

● 対応に困っています…

1日に何度も物が盗られたと言って、盗られていないと言っても、ひどく怒って…。
私もついイライラしてしまいます…。

● サービスを利用してもらいたいけど…

最近、一人暮らしの母が鍋を焦がしたり、ゴミ出しが出来なくなっているようなんです。
ヘルパーを利用してほしいけど、すごく嫌がります…。

メール相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。
メールアドレス: dmc@chiyoda-hospital.or.jp



チームキャラクター
「ひまるちゃん」

専門外来

相談支援

広島県北部・安芸・認知症疾患医療センター

☎ 0826-72-8262

認知症に関する詳しい診断、症状増悪時などへの対応、専門医療相談などを行う認知症の専門医療機関です。

以前と比べて次のような症状でお困りのことはありませんか？

- 同じ内容の話をくり返すようになった
- 物の置き忘れ、しまい忘れが目立つようになった
- 料理や片付けが苦手になった
- 外出を嫌がるようになった
- ささいな事で怒りっぽくなった
- 物を盗られた、なくなったとよく言うようになった
- 見えるはずのないものが見えたり、聞こえたりするようになった
- 1人になると不安がったり、淋しがったりするようになった

早めに気づき対応することは、進行を遅らせたり、症状を軽減したりする事につながります。
相談は無料ですので、少しでも気になることがあればお気軽にご相談ください。
初めて受診される方は、予約制となっております。事前にお電話等でご連絡ください。



北広島町地域包括支援センター(役場福祉課内)

☎ 0826-72-7352



高齢者の総合相談窓口です。認知症についての相談はもちろん、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、介護、福祉、健康、医療などと連携し、支援していきます。

本人・家族・親戚・友人・地域の方から電話・窓口・訪問などからご相談を承ります。
お気軽にご相談ください!

